

学級活動学習指導案(4年1組)

令和3年11月16日(火) 第5校時(教室) 指導者

授業改善の視点

「ムーブノート」のコメント機能を使用した時に、トラブルになった場面例における原因や解決方法について「ムーブノート」を使って情報共有したり、自分の意見と友達の意見を比較しながら話し合ったりすることで、インターネット上でメッセージのやり取りをする時に、自分なりに気をつけたいことを決めることができるであろう。

1 題材名 「インターネット上での友達とのメッセージのやり取りについて考えよう」

<(2)イ よりよい人間関係の形成>

2 目標

インターネット上のメッセージのやり取りは、便利で楽しい反面、不用意に発信したものが、不特定多数の人に見られたり、気づかないうちに相手を傷つけたりすることがあることを知り、「ムーブノート」のコメント機能を使用した時に、トラブルになった場面例における原因や解決方法について話し合うことを通して、インターネット上での友達とのメッセージのやり取りで注意して安全に使っていかうという態度を育む。

3 学びのつながり

【東連携型小中一貫校の指導の重点<学級活動>】

集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するための話し合いをしたり、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。

【これまでの学び】

【ここでの学び】

本題材では、インターネット上のメッセージのやり取りで、直接の悪口を書き込むことはもちろん、知らないうちに相手を傷つけてしまうことがあることを理解し、日常生活と同じように相手のことを考えて行動することの大切さに気づかせたい。本時では、児童が実際に使っている「ミライシード」の「ムーブノート」にあるコメント機能を使用する時に想定されるトラブルの場면을提示し、その原因や解決方法を話し合う。自分が使うときには、どんなことに気をつけるべきか、当事者意識をもって取り組むことができる。

【このあとの学び】

本時の学習後に「ムーブノート」のコメント機能を使い始める。使用する際に、本時で「学級会カード」に書いた「コメントをする時に気をつけたいめあて」を確認するように促し、「ムーブノート」の使用する度に、めあてが達成できたかについて自己評価する。

4 評価規準

【知識・技能】

インターネット上では、トラブルにならないように気をつけて、友達とメッセージのやり取りをしなければいけないことを理解し、そのための知識や行動の仕方を身につけている。

(観察・学級会カード)

【思考力・判断力・表現力】

インターネット上での友達とのメッセージのやり取りの問題に気づき、原因や解決方法について話し合い、「ムーブノート」のコメント機能を使用した時に気をつけたい具体的な「めあて」を決めている。

(発言・学級会カード)

【主体的に取り組む態度】

インターネット上での友達とのメッセージのやり取りの仕方についての見通しをもち、自分のめあてを意識して活動しようとしている。

(観察・学級会カード)

5 人権教育との関わり

本題材は、群馬県人権重要課題「10 インターネットによる人権侵害」を受けて構成したものである。インターネットの利用を通して他人を傷つけることがあることに気づくとともに、気をつけて安全に使っていこうとする態度を育てることをねらいとしている。児童に具体的で身近な場面を取り上げ、その原因と解決方法を話し合うことで、情報に関わる望ましい姿勢や態度、情報活用の方法などについて、自分ごととして考える機会としたい。また、意見を出し合う場面で「ムーブノート」の「みんなの広場」を活用することで、意見を表出し（自己存在感）、自分と友達の意見を比較しながら話し合い（共感的な人間関係）、自分の意見を決める（自己決定）「生徒指導の3機能」を生かすことは、自己肯定感を高め、他者を認めることにつながり、クラス全員が活動へ意欲的に取り組めるようにしていきたい。

6 指導計画（評定に用いる評価は囲い文字）

	日時	活動内容	評価	指導上の留意点
事前	7月末 11月初め	・オンラインゲーム、SNSに関するアンケート実施による実態把握 ・学級活動「インターネット上の書き込みについて」	知	・「情報モラル」の学習をすることで、インターネット上では、相手の顔が見えず、軽い気持ちで書き込んでしまうことがあることに気づかせる。
本時	11月16日	・学級活動「ムーブノートでコメントをするときに気をつけたいこと」	思	・インターネット上では、直接的な悪口だけでなく、相手に嫌な思いをさせる場合があることに気づかせる。
事後	11月中	・自分の立てためあてを意識してコメントをすることができたかについて活動を振り返る。	主知	・「ムーブノート」のコメント機能を使用するときに、その都度、本時の個人のめあてを確認し、意識して取り組むことが繰り返しできるようにする。

7 本時の学習

(1) ねらい

「ムーブノート」のコメント機能を使用した時に、トラブルになった場面例における原因や解決方法について話し合い、「ムーブノート」のコメント機能を使用するときに、気をつけるべきことについて自分のめあてを決めることができる。


(2) つなぎ教材

①教材名 「ムーブノート」のコメント機能のトラブル場面
場面2 意味の無い絵文字の羅列を送る 場面3 誤解を与える表現「上手じゃない」

②目的 「ムーブノート」でコメント機能を使用するときに気をつけたいことを考え、決める。

③つなぎ方 トラブルの原因と解決方法を考えることで、トラブルにならないために気をつけたいことを考えさせる。

(3) 展開

<p>児童の活動 [] ……予想される児童の反応</p>	<p>時間</p>	<p>指導上の留意点 ◎学びのつながり ※生徒指導の3機能</p>
<p>1 場面1から本時のめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>場面1</p> <p>Aさんの作品のコメント欄</p> <p>B: これはないわー</p> <p>C: たしかにー (笑)</p> <p>D: 意味わかんないよ、バーカ</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・一生懸命つくったものなのにひどいな。 ・自分が書かれたら傷つくよ。 ・ネット上は、相手の顔がみえないし、みんなが書いていると自分もいいかと思ってしまうんだね。 ・相手が嫌な思いをしないように気をつけないといけないよね。 </div>	<p>5 つ か む</p>	<p>◎場面1「直接的な悪口の書き込み」を提示する。インターネット上のやり取りは、相手の顔がみえないことで、悪口などを安易に書き込んでしまう危険性があるという「情報モラル」の学習を想起させ、「ムーブノート」でも同じことが起きることを気づかせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>これまで</p> </div> <p>・今後の授業で「ムーブノート」のコメント機能を使用することを話し、場面1の書き込みについてどう思うか発問することで、自分ごととして考えられるようにし、本時のめあてにつなげる。</p>
<p>めあて 「ムーブノート」でコメントをするときに気をつけることを考えよう。</p>		
<p>2 「ムーブノート」のコメント機能を使用したときのトラブルの原因について考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>場面2</p> <p>B: (^ ^)</p> <p>C: (^o^)(^o^)(^o^)</p> <p>D: </p> <p>A: Dさん、これ何が言いたいのか？</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のコメント欄に書かれていたら嫌だなあ。ふざけていると思うよ。 ・BさんとCさんが絵文字を使っていたからついふざげちゃったんだね。 ・直接的な悪口でなくても嫌な思いをさせることがあるんだね。 </div>	<p>10 さ ぐ る</p>	<p>◎導入で直接的な悪口の書き込みを紹介し、「さぐる」場面では、送り手は悪口を書いたつもりがなくても受け手が嫌な思いをすることがある場合を取り上げる。児童にとっての「相手に嫌な思いをさせる」書き込みの定義を広げられるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>つなぎ教材</p> </div> <p>・場面2は、児童が普段よく使いたがる絵文字を取り上げる。意味も無く絵文字を羅列したDさんのコメントについて「このコメントをもらったAさんはどう思うだろう？」と問いかけ、自分が楽しくても相手に嫌な思いをさせることができることに気づくことができるようにする。</p>

場面3

B: まとめかたが上手でわかりやすかったよ。
A: ありがとう!!
C: Aさんの作品はいつも上手じゃない。
A: え、そんなこと言わなくて・・・

- ・ Cさんの「上手じゃない」は、ほめたはずなのに、Aさんには「下手だ」と言っているように思われたんだ。
- ・ Cさんが最後に「？」を付け忘れたからだよ。
- ・ 文字だけだと自分が思っていることがうまく伝わらないことがあるんだね。

- 3 「ムーブノート」でコメント機能を使用したときのトラブルの解決方法について話し合う。
- ・ 1～3それぞれの場面の解決方法を考えて「ムーブノート」に書き込み、投稿する。

自己存在感

- ・ 「みんなの広場」の友達の意見を見ながら、自分と同じ意見、違う意見を見つけ、よいと思った考えを出し合う。

共感的な人間関係

場面1

- ・ 友達と一緒にになって、悪口を書いたり、ふざけて書いたりしない。

場面2

- ・ 絵文字だけをつかうと意味が伝わりにくいので、絵文字は文の最後に使う。

場面3

- ・ 相手に間違っって伝わらない文章にする。
- ・ 送ってしまうと取り消してもみんながみているから、送る前に読み直す。

- 4 「ムーブノート」でコメント機能を使用するときに気をつけたいことについて自分のめあてを決める。

- ・ 学級会カードに書く。
- ・ 数名が全体に発表する。

自己決定

- ・ 友達を読んで嬉しくなるようなことを書く。
- コメントはずっと残るし、みんなが見るものだから。
- ・ 悪口や嫌なことは書き込まない。
- 相手を傷つけるし、自分がもたらしたら嬉しくない。
- ・ 意味が変わってしまう言葉には気をつける。
- ?があるとないで受け取り方が違って来るから。
- ・ 書き込んだものをもう一度読み直してから送る。
- 友達を読んで嫌な気持ちにならないかよく考えた方がいいから。

- ・ 場面3は、「上手だね」と伝えたいのに「上手じゃない」と書き込んだことで、相手に嫌な思いをさせてしまった場合を取り上げる。「Aさんはなぜ嫌な気持ちになったのだろうか？」と発問し、Cさんの書き込みのトラブルの原因について考えさせる。同様な「かわいくない」「おいしくない」などの例を挙げ、文字だけのやり取りは、使い方を気をつけないと相手から誤解を受けることに気づかせるようにする。



- ・ コメント機能を使ったトラブルが起きないためにどうすればよかったのか、自分だったらどうするかを考える。場面1～3のどれか解決方法を選んで考えて書くよう促す。速く書けた児童は他の場面についても考えるよう指示する。

18

見

- ※自分の考えを出し合うのに「ムーブノート」の「みんなの広場」を使うことで、発言が苦手な児童も意見が出せるようにする。

つ

- ※自分と同じ、多くの子が書いている意見を見つけたり、自分では気付かなかった友達の意見を見つけ、出し合うように促すことで、いろいろな考えにふれることができるようにする。

け

る

- ・ 出された意見は板書し、自分のめあてを決めるときの参考にできるようにする。

7

- ・ 「『ムーブノート』でコメント機能を使用するときに気をつけたいこと」として、自分が一番気をつけていきたいことを決め、なぜ、そうしたのか理由を考えさせることで、自分ごととして深く考え、今後の実践につなげることができるようにする。

決

め

る

- ・ 本時の場面のように、インターネット上だから気をつけなければいけないことに留意してめあてを決めることを確認する。

5 本時の振り返りを学級会カードに書く。

- ・悪口を書いてはいけないことは分かっていたけれど、インターネット上のやりとりは、そのつもりがなくても、相手を傷つけることがあると分かった。
- ・顔が見えないからといってふざけて書き込んでしまっ
てはいけないことが分かった。
- ・〇〇さんの意見がよいと思って自分の考えに付け足
しをした。楽しく使えるように他にもいろいろ気をつ
けないといけないと思った。
- ・ムーブノートだけでなく、スマホやゲームでもどん
なトラブルが起こっているのか知りたい。

※「見つける」過程で
出た意見の板書と
「ムーブノート」に
出された友達の意
見を参考にするこ
とで、全員が自分の
考えを書けるよう
する。



5

評価項目

「ムーブノート」でコメント機能を使用する
ときに、気をつけるべきことを決めている。

【思考・判断・表現 発言・学級会カード】

- ・振り返りを書く際には、今日の授業で分かった
こと、友達のどんな意見がよかったか、友達の
意見を参考に考えを深めることができたかをポ
イントとして書くように促す。

◎児童会が作成した「ゲーム・スマホの注意点」
のちらしを提示し、インターネット上のやり取
りは、今回のムーブノートのコメント機能での
やり取りのようにみんなが気をつけていくべき
ことだと話し、これからもインターネットを安
全に便利に使ってほしいという見通しがもてる
ようにする。

このあと

8 板書計画

めあて 「ムーブノート」でコメントをするときに気をつけることを考えよう。

これまで

インターネットの
書きこみの注意点

場面1

- ・ひどい
- ・自分がされたいや
- ・顔がみえないとつい
悪口を書いてしまう

場面2

- ・意味がわからなくて
ふざけている
- ・悪口ではなくてもい
やだ

場面3

- ・？を使わないからご
かいされた
- ・文字だけだと気持ちが
伝わらないことがある

解決方法

- ・友達を読んでうれしくなるようなことを書く
- ・悪口や嫌なことは書き込まない
- ・意味が変わってしまう言葉には気をつける
- ・書き込んだものをもう一度読み直してから送る

スクリーン

*「つかむ」過程で場面1、「さぐる」
過程で場面2・3のトラブル例、「見
つける」過程で児童が考えを投稿し
た「みんなの広場」を提示する。



学級会カード



11月16日 名前 _____

課題 「ムーブノート」でコメントをするときに気をつけることを考えよう。

1 場面1～3のトラブルを解決するにはどうしたらいいのか

2 「ムーブノート」でコメントするときに気をつけたいこと（自分のめあて）

理由

3 今日の授業で分かったこと、考えたことを書きましょう。

